

カメラレポート

CAMERA REPORT

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（Tel.52-2115）までお知らせください。

「たくさんの思い出を胸に・旅立ちのとき」 町内各小・中・高等学校「卒業式」

3月1日の南富良野高校を皮切りに、町内の各学校において卒業式が行われました。父母や先生方が見守るなか、合わせて72名の児童・生徒に校長先生から卒業証書が授与され、在校生の拍手に見送られて、これまで学んできた数々の知識とたくさんの思い出を胸に学び舎を後にしました。



南富良野高校・18名(3月1日)



南富良野中学校・29名(3月13日)



幾寅小学校・20名(3月18日)



金山小学校・1名(3月18日)



下金山小学校・1名(3月18日)



落合小学校・3名(3月19日)

本部町上本部小学校へ雪を贈る

沖縄県本部町の上本部小学校と友好の証を交わしている幾寅小学校で、上本部小学校の児童に雪に触れてもらおうと、雪のプレゼントが贈られました。

3月1日に5年生13名が、学校前に積もった雪をスコップなどで発泡スチロールの箱13個に詰め、児童1人ひとりのメッセージを添えて、上本部小学校へ贈りました。



3月4日、上本部小学校に届いた雪は、早速開封され、雪合戦や雪だるまづくりを楽しみ、気温が25度を超える中で、雪に触れることができ、児童の皆さんは大変感激していたようです。



観光資源を生かしたイベントに (3月16日)

町内のアウトドア業者を中心とした実行委員会の主催により、昨年8月に行われた「富良野アドベンチャーフェスティバルインなんぷかなやま湖」の報告会が情報プラザで開かれ、出席した皆さんは、本町の観光資源である「自然と湖」を生かして、本町のスポーツイベントとして大きく育て、地域活性化の原動力として活用する方法などについて考えました。



フットパスについて学ぶ(3月18日)

森林や田園風景・町並みなど地域のありのままの風景を楽しみながら歩く道「フットパス」についての講演会が、情報プラザで開かれ、講師の酪農学園大学小川巖教授は、フットパスの楽しみ方や、先進地の事例を紹介しながら、地域に及ぼす効果などについて話され、出席した皆さんは、熱心に耳を傾けていました。



卒業を迎え感激の極み(3月25日)

千里大学2年間の課程を終了された大学院の卒業式と、本科、研修科、専修科の終了式がみなるで挙行されました。

学生全員で千里大学校歌を高らかに歌ったあと、池部学長から大学院の学生19名に卒業証書が授与され、続いて、本科(10名)研修科(16名)専修科(17名)の学生には、各科の代表者に池部学長から終了証書が授与されました。

また、大学院卒業まで6年間1日も休まず登校された、下川絹江さん(幾寅)と高橋久さん(幾寅)に皆勤賞の表彰状が池部学長から授与されました。

卒業生を代表して大学院第8期生の石上正勝さんは、「学友や家族に支えられて卒業を迎え、感激の極みです。これまで培った経験を地域で生かしていきたい」とお礼のことばを述べていました。

